

①令和6年度決算書の「損益計算書」を見てみよう！



【損益計算書とは……】

下水道事業の1年間の経営成績を表す書類で、その期間中に発生した全ての収入・支出及び最終的な利益（損失）を記載するものです。

【損益計算書からわかること……】

損益計算書は「収益的収支」の財布を整理して、「どれくらい売り上げがあり」「何にお金を使って」「どれくらい儲かったのか」がわかります。過去の分析や将来の方針を立てるのに必要な書類とも言えます。



下水道事業の**本業**を「汚水」と「雨水」を安全に排水することとすると……

「営業損失」本業による成績が分かる！

本業活動を行うために必要な費用や、下水道使用料、雨水を排水するための費用に対する一般会計からの繰入金等の収入などの主たる営業活動の経営成績のことです。

「経常利益」経常活動による経営成績がわかる！

本業活動に関する損益に加えて、営業外の収入とした一般会計からの繰入金や、借入金利息の支払いなど、本業ではないけど経常的に発生する資金調達に関する経営成績のことです。

「当年度純利益」最終的な経営状況がわかる！

1年間の全ての収入・支出を記載した経営成績の結果を示しています。



損益は次の式で計算します

損益 = 収益 - 費用

プラスなら利益が出ている！
マイナスなら損失が出ている……

令和6年度四條畷市下水道事業損益計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

	円	円	円
1 営業収益			
(1) 下水道使用料	667,589,934		
(2) その他の営業収益	559,327,300	1,226,917,234	(ア)
2 営業費用			
(1) 管渠費	74,209,989		
(2) 流域下水道維持管理費	467,240,537		
(3) ポンプ場費	25,217,613		
(4) 普及促進費	0		
(5) 業務費	49,976,000		
(6) 総係費	38,734,476		
(7) 減価償却費	1,062,806,684		
(8) 資産減耗費	1,445,612		
(9) その他営業費用	0	1,719,630,911	(イ)
営業損失		492,713,677	(ウ) = (ア) - (イ)
3 営業外収益			
(1) 受取利息及び配当金	65,544		
(2) 他会計補助金	220,209,000		
(3) 補助金	11,760,000		
(4) 長期前受金戻入	438,524,311		
(5) 雑収益	176,875		
(6) その他営業外収益	3,946,775	674,682,505	(エ)
4 営業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	107,797,900		
(2) 雑支出	22,396,445	130,194,345	(オ)
経常利益		51,774,483	(カ) = (エ) - (オ) (キ) = (ウ) + (カ)
5 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	9,829		
(2) その他特別利益	60,035,205	60,045,034	(ク)
6 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	14,483		
(2) その他特別損失	0	14,483	(ケ)
当年度純利益		111,805,034	(コ) = (ク) - (ケ) (サ) = (キ) + (コ)
前年度繰越利益剰余金		0	
その他未処分利益剰余金変動額		83,240,434	
当年度未処分利益剰余金		195,045,468	

②令和6年度決算書の「貸借対照表」を見てみよう！



【貸借対照表とは……】

年度末時点に企業が所有するすべての資産、負債及び資本を表示する報告書のことです。

【貸借対照表からわかること……】

表の左側【資産の部】からは、企業が事業を行うために所有している資産の残高を知ることができます。

右側の【負債の部】及び【資本の部】からは、資産を取得するためにどのように資金を集めたかを知ることができます。



資 産

資産は、1年のうちに現金化できるものを「流動資産」、できないものを「固定資産」として区別されています。



「流動比率」……短期的な安全性

$$\text{流動比率} = \frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100 = 46.8\%$$

すぐに支払わなければならないお金（短期債務）に対する支払能力を表します。

流動比率が100%以上あれば、短期債務返済能力は十分にあるものと判断できます。



「自己資本構成比率」……長期的な安全性

$$\text{自己資本構成比率} = \frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100 = 75.7\%$$

その事業の資本構成がどのようになっているかを表します。自己資本構成比率は総資本（負債と資本）に占める資本金等の割合で高ければ高いほど、企業の財政状態は良好であると判断できます。

令和6年度四條畷市下水道事業会計貸借対照表

(令和7年3月31日)

【資産の部】		(単位 円)	【負債の部】		(単位 円)
固 定 資 産		25,134,109,271	固 定 負 債		9,110,635,257
有 形 固 定 資 産		23,277,250,608	企 業 債		9,072,325,901
土 地		1,957,264,936	引 当 金		38,309,356
建 物		764,764,140	流 動 負 債		1,426,088,452
構 築 物		33,393,317,970	企 業 債		1,081,567,572
機 械 及 び 装 置		1,194,816,597	未 払 金		238,356,354
車 両 運 搬 具		2,927,698	引 当 金		5,389,000
工 具 器 具 及 び 備 品		10,402,941	そ の 他 流 動 負 債		100,775,526
減 価 償 却 累 計 額	△	14,099,078,674	繰 延 収 益		9,652,065,612
建 設 仮 勘 定		52,835,000	長 期 前 受 金		16,252,066,071
無 形 固 定 資 産		1,856,858,663	長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	△	6,600,000,459
施 設 利 用 権		1,855,721,887	負 債 合 計		20188789321
ソ フ ト ウ ェ ア		1,136,776			
流 動 資 産		667,185,593			
現 金 預 金		349,552,278	【資本の部】	(単位 円)	
未 収 金		216,249,411	資 本 金		3,594,995,139
貯 蔵 品		637,670	自 己 資 本 金		3,594,995,139
そ の 他 流 動 資 産		100,746,234	剰 余 金		2,017,510,404
			資 本 剰 余 金		1,822,464,936
			利 益 剰 余 金		195,045,468
			当 年 度 純 利 益		111,805,034
			減 債 基 金 取 り 崩 し 額		83,240,434
			資 本 合 計		5,612,505,543
資 産 合 計		25,801,294,864	負 債 資 本 合 計		25,801,294,864

負 債

負債は、企業債（借金）のように、他者に返済しなければならないお金です。

繰 延 収 益

繰延収益は、資産の取得（下水道施設の建設）の際にももらった補助金などの返す必要のないお金です。

資 本

資本は、資本金や事業で獲得した利益などの返す必要のないお金です。

【お金の使い道】

集めたお金が「どのような状態」で「どれだけ」あるかわかる。

【お金の集め方】

資産を獲得するためのお金を、「どのように」集めたか分かる。



③令和6年度決算書の「キャッシュ・フロー計算書」を見てみよう！



【キャッシュフロー計算書とは……】

キャッシュ・フロー（CF）とは、企業における「キャッシュ（現金）のフロー（流れ）」を表しています。簡単に言うと企業が当該決算期にどのように現金を生み出し、それをどのように使って、どれだけの残高があったのかを示した表です。

【キャッシュフロー計算書からわかること……】

資産と負債の状況を示す貸借対照表や、利益を示す損益計算書では分かりにくい1年間の現金の動きをその理由と併せて確認することができます。



「業務活動」によるキャッシュ・フローはプラスか？

「企業が本業でどれだけお金を得られたか」を示しており、この数値が大きければ大きいほど、本業で「稼ぐ力」があります。

「投資活動」によるキャッシュ・フローはどれくらいマイナスか？

「将来のために、どれだけお金を投資しているか」を示しており、更新等の設備投資を実施することが重要であることから、マイナスであることが望ましく、なぜマイナスになったのかの原因を分析することが重要です。

「財務活動」によるキャッシュ・フローはどれくらいマイナスか？

どれだけお金を借り、どれだけ返済したかを示しており、基本的にはマイナスの方が望ましいですが、発展のための資金調達の場合もあることから、営業CF・投資CFと比較しつつ、財務CFを読むことが大切です。

現金を増やすことができたか？

現金が増えているか、減っているか、なぜそうなったのかを各キャッシュ・フローから確認できます。

令和6年度四條畷市下水道事業会計キャッシュ・フロー計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 円)

I 事業活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	111,805,034
減価償却費	1,062,806,684
資産減耗費	1,445,612
退職給付引当金の増加額	3,612,422
賞与引当金等の増加額	451,000
貸倒引当金の減少額	△ 189,206
長期前受金戻入額	△ 438,524,311
受取利息及び配当金	△ 65,544
支払利息及び企業債取扱諸費	107,797,900
営業及び営業外未収金増加額	△ 11,997,120
営業及び営業外未払金・未払費用増加額	29,201,531
その他流動負債の増加額	1,283,965
その他流動資産の増加額	△ 1,283,965

小計	866,344,002
受取利息及び配当金	65,544
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 107,797,900
営業活動によるキャッシュ・フロー①	758,611,646

II 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産取得・建設改良事業等実施額	△ 241,484,841
国庫交付金による収入	22,590,000
下水道受益者負担金による収入	1,065,400
4条特定収入圧縮記帳分	△ 2,148,818
投資活動に伴う未収金等の債権の増加額	△ 51,976,745
投資活動に伴う未払金等の債務の減少額	△ 96,461,737

投資活動によるキャッシュ・フロー②	△ 368,416,741
--------------------------	----------------------

III 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入による収入	350,000,000
短期借入金返済による支出	△ 350,000,000
建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	1,008,400,000
建設改良等の財源に充てるための企業債償還による支出	△ 1,411,580,773

財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 403,180,773
--------------------------	----------------------

IV 現金預金の減少額④=①+②+③	△ 12,985,868
V 現金預金の期首残高	362,538,146
VI 現金預金の期末残高	349,552,278

営業CFがプラス	投資CF（施設の更新の実施） 財務CF（借入金の返済）へお金を使うことができる。
営業CFがマイナス	資金不足となり、施設の更新や借入金の返済のため、さらに借入金が必要となる。



営業CFのマイナスが続くと、資金繰りができなくなり、倒産する可能性があります。

投資CFがプラス	資金繰りが苦しく、資産を売却して資金を調達している可能性もあり、経営状態の調査が必要となる。
投資CFがマイナス	成長している企業は積極的に設備投資を行うので、投資CFはマイナスになる。



投資CFについては、なぜプラスもしくはマイナスになったのか、確認することが重要となります。

財務CFがプラス	原則、良い状況ではないが、積極的な投資による場合は必ずしも悪いとは言えない。
財務CFがマイナス	一般的には良い状況であるが、営業CFを投資CFに回していない場合は注意が必要となる。



プラスであっても、マイナスであっても資金使途や流れを見ることが重要です。